

令和元年度 第1回臼杵市総合教育会議 会議録

開催日時 令和元年11月5日(火) 10時00分開会(～11時50分開会)

開催場所 臼杵市役所 全員協議会室

出席者氏名

臼杵市長 中野五郎  
教育長 斎藤 克己

臼杵市教育委員会  
委員 垂井 美千代  
委員 安東 雅幸  
委員 神田 岳委  
委員 渡辺 義弘

(事務局)  
秘書・総合政策課長 平山 博造  
秘書・総合政策課課長代理 佐藤 靖寿  
秘書・総合政策課 副主幹 花崎 成巳

(教育委員会事務局)  
教育次長兼教育総務課長 甲斐 尊  
社会教育課長 大戸 敏雄  
学校教育課 総括課長代理 滝澤 愛  
教育総務課 総括課長代理 麻生 幸誠

議 事

1. 開会
2. 今年度の議題について(報告)
  - (1) 学力向上の要因について
    - ・図書専門員の現状と効果、課題
    - ・幼保小中一体教育の成果と課題
    - ・エアコン導入の効果と課題
    - ・夏休みの期間、授業の充実
  - (2) 体力の向上について
    - ・臼杵市の現状、肥満割合について
  - (3) 特別支援教育・いじめ対応・不登校支援について
    - ・臼杵市の現状について
  - (4) 臼杵大好きうすきっこの育成について
    - ・11月19日南中学で開催の臼杵市の未来を考える中学生と市長の意見交換会について
  - (5) 臼杵市の未来を創る担い手像検討会議について
3. 意見交換
4. 閉会

|

## 意見交換

### ・学力向上の要因について

読書と学力はある程度相関関係がある。国語は学校図書館や図書館に週に4回以上行く人の正答率はほとんどいかならない人や全く行かない人に比べて16%程の差があり、図書館に通っている子どもの正答率が高い傾向が出ている。

図書専門員と中央図書館と連携をして質を上げ研修を最低年6回以上実施し検証を進める取り組みを行っている。具体的には、廊下や踊り場に施設に合わせた掲示をして図書館の方に子ども達に興味・関心を持たせて図書館に誘い込むなどの工夫をしている。

豊かな語彙力をつけるためには読書や新聞を読むことが大事であり本に気持ちを向けさせていくためにクラスの担任に図書館専門員が図書カードで知らせる取り組みをしており、図書専門員の熱意と努力で充実してきている。

学習指導要領で学習量が増えているが、祭日が多く休みが重なると振替休日や連休になったりして、授業時間が減っている。そのため夏休み期間にエアコンをつけて授業をしており、先生達はほぼ毎日夏休み出勤しており、中学3年生の授業に遅れて支援が必要な子はほぼ毎日出て個別学習をしている。

学校により夏休みの授業日数の差があるので、明確な理由がない限りは是正しなければならない。

一つの教科を習熟度別に分けて授業をしているため本来1人の先生が授業をすればよいのが分けて個別指導をしているので休み時間に職員室を覗いても先生方がいない状況である。

社会教育課が進めている放課後子ども教室や中3教室で随分と救われている生徒が多い。塾通いを地方では出来ない子もおり、学力を上げたいと希望する子が通っている。希望して教科を選べることや最初に一年間の予定を提示するので、市民権を得て定着をしている。

他の市では中3教室は数学のみの一教科としているところがあるが、臼杵市は5教科の入試対策を一つの目標として社会教育課がしており、成果として上がってきている。

昨年の0歳から5歳刻みの社会増減は大分県で臼杵市が一番プラスになっている。保育園から幼稚園、小学校、中学校、医療も含めて臼杵の環境は良い。学校の取り組みとして給食はアレルギー体質の子の対策をとる他、地元の産品を使用したり有機の里づくりや石仏ネット、チャポートや病児・病後児保育を充実させ臼杵の子育て環境を良くしている。子育てを臼杵でしたいという人を増やすには臼杵市の学力向上が大切である。

### ・体力の向上について

体力と肥満についてはスクールバスで通学をしていることが要因の一つだと考えられるので、スクールバスで通学している所は、朝、走る時間を設けており、先生方が工夫をして体力増進をする工夫をしている。また、サーキットコースを作って体育の時間に走る取り組みを小学校でしている。

教育委員会と福祉と保健がそれぞれ体力の向上について取り組みをされているがプロジェクトチームをつくって中身を充実してもらうことがよいのではと思う。

### ・臼杵大好き臼杵っこの育成について

南中学との意見交換会では、今の中学生がどのようなことを考えているのかどのような授業をしているかを見せてもらい、臼杵市に対する提言を授業等でいろいろと勉強をされていることを聞いてみたい。

### ・臼杵市の未来を創る担い手像検討会議について

船をモチーフにした「うすき丸5つの約束」として5つのスローガンが完成しましたが、うすき丸というのは3万9千人乗っていますので、沈むのであれば皆で沈むので、皆さんが力を合わせ、船がこの荒波の中で目的地につくには、市民一人、ひとりがこの5つのシップをしっかり身に着けると安全・安心な航海が出来るのではないかと思います。20年後、このような力を持った人が育つには、保育園・幼稚園と15歳のところをどう繋げていくかを教育委員会や福祉と協議をし、詰めていかなければならない。